

山口県感染症発生週報

(第37週:2021年9月13日～9月19日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

- ・結核:第36週追加 1例(周南)、第37週 2例(下関)
- 【新型インフルエンザ等感染症】
- ・新型コロナウイルス感染症:83例(下関20例、岩国8例、柳井3例、周南12例、防府4例、山口29例、宇部4例、長門1例、萩2例)

「デルタ株感染拡大防止集中対策」の取組みにより、感染状況に改善の兆しが見られますが、往来の多い隣県の福岡や広島の緊急事態宣言が継続していることなどから、集中対策期間を9月26日まで延長します。引き続き、県外との往来自粛、外出機会の半減、会食は少人数・短時間で、普段一緒にいる人以外とは自粛するなど感染症予防対策の徹底をお願いします。

※()内は届出を受けた保健所

デルタ株感染 拡大防止集中対策

集中的な取組により、
本県での感染の再拡大を阻止!

- ◎県外との往来自粛
⇒福岡・広島との往来は最大限自粛を!
- ◎外出機会の半減
⇒不要不急の買い物や会食は控える!
⇒20時以降の飲食店等の利用は自粛を!
- ◎感染予防対策の徹底
⇒まめな手洗い・手指消毒等の徹底!
⇒会食は少人数・短時間、
普段一緒にいる人以外との会食・会食は自粛を!

集中対策期間

9/26(日)まで

山口県政策企画課HP (9/11掲載)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・RSウイルス感染症:岩国、周南で発生が多い状況です。
- ・手足口病:防府で増加し、警報レベルとなりました。[警報レベル:防府(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuyuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	35週	36週	37週	疾患名	35週	36週	37週
インフルエンザ	0	0	0	ヘルパンギーナ	12	17	24
RSウイルス感染症	126	125	90	流行性耳下腺炎	3	5	3
咽頭結膜熱	2	2	6	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	7	5	流行性角結膜炎	1	2	1
感染性胃腸炎	116	96	94	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	1	2	7	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	24	24	63	マイコプラズマ肺炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	26	29	21	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	12	0	77	1	0	0	0	0	90
咽頭結膜熱	0	2	0	1	1	0	0	0	2	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	0	2	0	0	1	0	0	5
感染性胃腸炎	11	3	9	26	4	11	23	0	7	94
水痘	0	2	0	2	0	2	1	0	0	7
手足口病	1	0	0	11	26	13	7	0	5	63
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	1	1	1	5	1	4	5	1	2	21
ヘルパンギーナ	0	1	0	1	4	9	8	0	1	24
流行性耳下腺炎	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 トピックス

新型コロナウイルス感染症が第38週(9月21日現在)に11例(下関5例、岩国1例、山口5例)確認されました。【累計5,518例】

4 病原体検出情報

- ・新型コロナウイルス感染症:新型コロナウイルス(検体採取週 第37、38週)が検出されました。